

# 締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。ラーメンへのこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの思いを紹介します。

## 第3回

### ラーメン処あずま食堂



住所：鬼越28-3  
営業時間：11:00 ~ 19:45 (品切れ次第終了)  
定休日：木曜日、第3水曜日

昭和47年に金屋町で創業、平成7年に南湖を望む国道289号沿いの鬼越に店舗を移転しました。創業以来、店主の吾妻功明さんが44年かけて培った手作りの技と素材を吟味したこだわりの味を守り続けています。2年前、息子の隆之さんが店を手伝うようになってからは、作業を分担し、家族で店を切り盛りしています。

一番のこだわりは、2種類の小麦粉をブレンドし、3日間熟成させた手打ち麺。手間暇を惜しまず、朝早くから仕込みを行い、全身の力を込めて竹で打つ麺は、もちもちとした食感が特徴です。

看板メニューの白みそタンメンは、白みそと白ごまを合わせたみそを使い、飽きの来ないあっさりとした風味に仕上げられています。種鶏ガラスープで作る醤油ラーメンや手作り餃子もおすすです。

自身のこだわりを貫きながらも、お客様のことを考え、麺の硬さや味の濃さなどの要望にもできる限り応えています。

「たかがラーメン、されどラーメン」と語る功明さん。一杯入魂の気持ちで、こだわりの一杯を作り続けています。

## 人物Report

~注目のあの人を紹介~

ひやくとみ ゆう  
百富 悠さん

4月2日に行われた、第12回国際交流全日本空手道選手権大会(NPO法人空手道POINT&K.O.協会主催)中学生軽量の部(エントリー当時)で優勝した百富悠くん(白河旭高1年)。

5歳の頃から極真空手を習い始め、現在一級の腕前です。週4日道場に通り練習に励んでいます。

空手を通じ、諦めずに物事に取り組めるようになっただけでなく、礼儀や感謝の気持ちを持つことを学んだという百富くん。「次の目標は、高校生の部で優勝すること」と爽やかな笑顔で話してくれました。



《白河市ホームページ》



最新の情報をチェック

《i 広報紙》



アプリで情報チェック

《白河市公式ページ》



旬な話題をチェック

広報しらかわ6月1日号28ページ「人物Report」で氏名のふりがなに誤りがありましたので、おわびして訂正します。

(正) ふじしま みゆう  
(誤) ふじしま みゆ